

「ホワイト物流」推進運動

持続可能な物流の実現に向けた自主行動宣言

企業・組合名	役職	氏名	所在地	主たる事業	ホームページ
日清オイリオグループ株式会社	代表取締役社長	久野 貴久	東京都中央区新川1-23-1	食料品製造業	http://www.nisshin-oillio.com/

当社は、「ホワイト物流」推進運動の趣旨に賛同し、以下のように取り組むことを宣言します。

最終更新:	2019年7月31日
-------	------------

(取組方針)

・事業活動に必要な物流の持続的・安定的な確保を経営課題として認識し、生産性の高い物流と働き方改革の実現に向け、取引先や物流事業者等の関係者との相互理解と協力のもとで、物流の改善に取り組めます。

(法令遵守への配慮)

・法令違反が生じる恐れがある場合の契約内容や運送内容の見直しに適切に対応するなど、取引先の物流事業者が労働関係法令・貨物自動車運送事業関係法令を遵守できるよう、必要な配慮を行います。

(契約内容の明確化・遵守)

・運送及び荷役、検品等の運送以外の役務に関する契約内容を明確化するとともに、取引先や物流事業者等の関係者の協力を得つつ、その遵守に努めます。

No.	分類番号	取組項目	取組内容
1	A ①	物流の改善提案と協力	構内の設備改善や作業手順を見直し、待機時間削減、付帯作業を合理化することで運転士の負荷軽減に取り組めます
2	A ⑩	リードタイムの延長	得意先へのリードタイム延長に取り組む、物流従事者の労働環境改善に努めます
3	F ①	多様な人材が活躍できる 働きやすい労働環境の実現	物流現場の福利厚生設備を改善し、女性や高齢者が働きやすい職場環境にしていまいます
4	F ②	共同配送による物流の効率化	他社との共同配送を推進し、積載率や配送効率を向上させることで物流の効率化に取り組めます
5	F ③	マテハン機器導入による 荷役作業の省力化	今日的なマテハン機器を積極的に導入し、荷役作業の省力化を推進していきます
6	F ④	パレット・面単位の輸送と 小口配送の削減	パレット・面単位の輸送と小口配送の削減に取り組めます
PR欄			当社は1996年より他の食品メーカー様との共同配送(S研)に取り組む、近年はF-LINE PJや食品物流未来推進会議(SBM会議)に参画し、製配販の物流諸課題解決に取り組んでいます。これからも、深刻化する物流従事者不足に対応するため、物流諸課題の解決に真摯に取り組む、「運びきる力」を強化してまいります。